



入校生を代表して宣誓する長井さん㊦（秋田職業能力開発短期大学校）

# 「充実した学生生活を」

秋田職能  
短期大

## 3科に62人が入校

大館市の秋田職業能力開発短期大学校（後藤康孝校長）で4日、2022年度入校式が行われ、3科62人が地元を支える技術者を目指して、新たなスタートを切った。

本年度の入校生は生産技術科17人、電子情報技術科23人、住居環境科22人。62人のうち県内出身者は52人で、女性8人だった。

式典では一人一人の名前が点呼され、入校が許可された。後藤校長は同校を「物作りの技術を学び、地元産業界の支えとなる中核的存在を育

てる場所」と紹介し、「厳しい2年間になるかもしれない。物作りにおける知識や技能、思考や息づかいといった共通言語を身に付け、国や古里を引っ張っていく技術者に

なってもらいたい」と式辞を述べた。  
来賓祝辞に続き、入校生代表の長井鈴世さん（大館桂桜高出身・生産技術科）が宣誓。「私たちは今日、物作りのプロを目指して新たな一歩を踏み出した。授業や実践を通して豊かな創造性を身に付けると共に、充実した学生生活を送りたい」と決意を語った。